

第4回 Tsurui Lymphoma Workshop 勉強会プログラム

8/4 (金曜)

開会挨拶 13:00 -13:05 塾長 鈴宮淳司

ガイダンス「今日からの3日間」 13:05—13:10 事務局 押味和夫

1. ウイルスとリンパ腫 13:10—14:50 司会 鈴木律朗・磯部泰司

1) リンパ腫と鑑別すべき新興感染症 SFTS 30分 安川正貴 (愛媛大学血液・免疫・感染症内科学)

2) CAEBV

① 小児の EBV 関連リンパ増殖症: CAEBV を中心に 30分 石井榮一 (愛媛大学小児科)

② 大人の CAEBV 20分 近藤英生 (岡山大学大学院総合内科学)

3) EBV+ DLBCL 20分 鈴木律朗 (島根大学病院腫瘍・血液内科)

休憩 20分

2. リンパ腫病態と診断・治療 15:10—17:40 司会 末永孝生、安藤 純

1) high-grade B-cell lymphoma って何? 20分 内田晶子 (聖マリアンナ医大血液内科)

2) NK/T 細胞リンパ腫における NK 受容体の発現 20分 上村 悠 (聖マリアンナ医大血液内科)

3) 蛍光多重染色を用いた DLBCL における免疫抑制環境の解析 20分 花村一朗 (愛知医大血液内科)

4) Liquid biopsy 30分 木村晋也 (佐賀大学医学部血液・呼吸器・腫瘍内科)

5) neurolymphomatosis の診断と治療 20分 安部佳亮 (亀田総合病院血液・腫瘍内科)

6) Waldenström macroglobulinemia はいつからどう治療するか 20分 渡部玲子 (埼玉医大総合医療センター血液内科)

7) Hodgkin リンパ腫治療最前線 20分 中村文乃 (愛知医大血液内科)

3. これは困った! (症例呈示と討論) 17:40—18:20 司会 鈴宮淳司

1) 殺細胞性抗がん剤投与後 ATL を発症した例 20分 中谷 綾 (関西医科大学第一内科血液腫瘍内科)

2) 異時性に眼内と扁桃に出現したリンパ腫の正体は? 20分 宮城島拓人 (釧路労災病院血液内科)

8/6 (日曜)

4. 分子標的薬 9:00—10:40 司会 近藤英生、坂田麻実子

- 1) blinatumomab 20分 岡田隆宏 (島根大学病院腫瘍・血液内科) 足立康二 (米子医療センター血液内科)
- 2) 第1・第2世代 BTK 阻害薬 20分 熊野御堂 慧 (島根大学病院腫瘍・血液内科) 林克起 (島根大学学生 M6)、大國典子 (浜田医療センター研修医)
- 3) PI3K δ 阻害薬 20分 関口 和 (信州大血液内科)
- 4) BCL2 阻害薬 20分 竹内真衣 (岡山大学病理) 岩城憲子 (富山日赤病院血液内科)
- 5) EZH2 阻害薬 20分 村本賢三 (エーザイメデイカル本部)

5. その他 10:40—11:20 司会 押味和夫

- 1) HCL Japanese variant の正体 20分 三浦美代子 (釧路中央病院臨床検査科)
- 2) 末梢血の自然乾燥標本と強制乾燥標本の差 (欧米人が見ている標本と日本人が見ている標本はどこが違うか) 20分 鈴宮淳司 (島根大学病院腫瘍・血液内科)

閉会の辞 塾長 鈴宮淳司

来年は8月3日 (金曜) からの3日間